

# 産経新聞

平成12年(2000)日刊20672号

5/8 [月]



産業経済新聞(サンケイ)  
THE SANKEI SHIMBUN

発行所 ©産業経済新聞東京本社2000  
〒100-8077東京都千代田区大手町1-7-2  
☎ 東京(03)3231-7111(大代表)

## 産経抄

十日余りの中国福建省取材(「ぶらり中国」でご報告)から帰ったが、その日よる(五日)のフジテレビ系ドキュメンタリー番組『小さな留学生』に感動した。福建省報告よりもまずそのことを▼この番組を制作した中国人女性・張麗玲さん(≡)には、ある会合の席であり、取材のいきさつや撮影の苦心を聞いたことがあった。小柄で美しいひとである。彼女は二十一歳のとき、全く日本語が話せない自費留学生として来日した▼そして日本に住む中国人留学生の苦闘の暮らしをドキュメントとして記録することを思い立ち、いきなりフジテレビを訪れた、「私にVTRカメラを貸して下さい」と。それまでカメラを手にしたこと、テレビ番組を制作したこと、なかつたという▼話を聞いたプロデューサーにはピンとくるものがあり、その申し入れから彼女が撮影に入る模様の一部始終を追跡し、記録していた。プロデューサー独特のみごとなカンで、ドラマ以上にドラマチックな話と聞いていいかもしれない▼四年間にわたる在日留学生のドキュメントは、昨秋、北京でも十夜連続で放映され、中国全土に伝わって大きな反響を呼んだ。一種の社会現象だったという。『小さな留学生』はその一部で、日本語を知らない中国の少女・張素ちゃん(九)が八王子の小学校に入り、日本の先生や級友に励まされて成長する日々を描いていた▼「日本人ってこんなに尊敬すべき民族だったのか」、中国の人はとほそういう驚きの声をあげたという。不透明なODA(政府開発援助)に比べ、この子どもたちや先生の果たした役割がいかに大きいか。張素ちゃんの涙が語りかけるものもまた大きかった。

2000.5.8